

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] パーキンソン病患者における脳深部刺激療法前後でのADLの経過および高次脳機能との関連について

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者所属・氏名] 北海道大学病院・リハビリテーション部 小川 圭太

[研究の目的] パーキンソン病患者の脳深部刺激療法前後における日常生活動作の経過や高次脳機能の関連について明らかにする。

※脳深部刺激療法：脳に電極を埋め込み電気刺激を与えることで運動機能の改善を図る治療法です。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2014年1月6日～2024年2月8日の間に北海道大学病院脳神経内科（旧神経内科）に入院し、脳深部刺激療法適応評価や脳深部刺激療法後の定期評価を実施したパーキンソン病の患者さん。

○利用する情報

\*以下の項目について2024年2月8日までの情報を利用させていただきます。

診断名、年齢、性別、身体所見、評価結果（パーキンソン病の症状、日常生活動作、運動機能、認知機能）

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用開始：2026年1月頃)～2027年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 リハビリテーション部 担当者 宮下 聖史

電話 011-706-5740